

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	14_神奈川県
市区町村名	14301葉山町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
14301葉山町	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	令和7年度から町内1中学校区で小中一貫教育校が開始になることを踏まえ、各中学校区において9年間を見通し、地域と連携した生活科・総合的な学習の時間の実現に向けて取り組んでいる中で、地域人材の発掘や連絡調整に係る地域学校協働活動推進員の負担が課題となっている。	教職員が地域の協力を得るために、地域学校協働活動推進員に依頼する際の手順や注意点をまとめて、全校に周知する。	毎月の地域学校協働活動推進員会議や、学校運営協議会へのオブザーバー参加等、当課と生涯学習課・教育総務課の教育委員会3課が連携を密にして取り組んできた。左記取組についても、生涯学習課が作成を予定している地域学校協働活動リーフレットと合わせて周知するなど、一体となって取り組みたい。	地域学校協働活動推進員の負担を軽減しながら、地域人材を活用した授業の積極的な実施により、社会に開かれた教育課程の実現が図られている。	地域学校協働活動推進員への聞き取り。前年度に比べ、「学校と地域の連携が円滑にできている」「推進員の活動に支障がない」と回答した人数	0	人	4	3	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 計画した「教職員が地域の協力を得るために、地域学校協働活動推進員に依頼する際の手順や注意点をまとめて、全校に周知する」ことについては、学校によって状況が異なること、推進員の中でも様々な考え方があることから、検討を継続することとした。推進員の負担として、管理職の異動あった際の、方針が変わることへの対応などが挙げられた。異動があっても町としての方針に沿って活動を継続できるよう、適切な研修を行う必要がある。地域に開かれた教育課程の実現については、多くの地域人材と連携した取組が見られ、前進していると考える。	https://www.town.havama.lg.jp/soshiki/shougaigakushuu/5/15932.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。